

第3回厚生常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	平成26年6月25日(水曜) 午前 9時30分		
	休憩時間 10:07-10:08 10:09-10:11 10:33-10:45 10:54-10:55		
	午前10時58分		
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 岡崎榮太郎	委 員 唯野 義勝	議長 広瀬重雄(遅参)
	副委員長 高橋 仁美	委 員 吉田 敏郎	
	委 員 高橋源(早退)		
説明等に 出席した 者の氏名	子育て支援課長 安田敦史	住民生活課長 弦巻 潔	
	課長補佐 佐々木快治		
	子どもセンター長 谷川宜延		
	子育て支援係長 上寫 寛		
	児童係主任 藤村 学		
	子育て支援係主任 本内紀美子		
	公立芽室病院事務長補佐 菅原庸晴		
	医事係長 藤澤英樹		
事務局職員	局長 西科 純	次長 剣持 和裕	
『会議に付した事件と会議結果など』			
1 開会 委員長が開会を告げ、事務局長から本日の委員会の日程について説明する。			
2 議件			
(1) 調査事項			
ア 子ども・子育て支援事業計画について		資料1	
イ 放課後児童クラブの基準について		資料2	
ウ 不妊治療費助成制度について		資料3	
エ 平成25年度公立芽室病院の経営状況について		資料4	
オ 家電製品大量不法投棄の経過報告について		資料5	
2 議件			
(1) 調査事項			
ア 子ども・子育て支援事業計画について		資料1	
イ 放課後児童クラブの基準について		資料2	
ウ 不妊治療費助成制度について		資料3	
・安田課長および担当職員から一括説明後、質疑を行う。			
ア 子ども・子育て支援事業計画について			
・唯野委員：子育て部会で意見を聴きながら策定するのか。			
・安田課長：月1回を目途に開催していく。委員の他に子育て当事者3人を加えていくこととしている。			

- ・吉田委員：名前を変っただけなのか、サービスは増えるのか。
- ・安田課長：今回は国が義務化したものである。ニーズ調査を予算計上しているが、本町にどれくらいの規模の要求があるのか、5年間の保育所、母子保健などのアンケート調査により、5年間のサービスを定めるものである。

イ 放課後児童クラブの基準について

- ・吉田委員：P 2 1 の集団の規模であるが、
- ・谷川子どもセンター長：専用スペースの基準であり、それ以外のスペースは混在してかまわない。

ウ 不妊治療費助成制度について

- ・ア 子ども・子育て支援事業計画について
- ・唯野委員：町独自の制度はどうなっているか。
- ・安田課長：道補助に上乗せした補助を行っている。
- ・唯野委員：町独自で最低限度の助成制度をつくってはどうか。
- ・安田課長：医療費の助成の概念とは異なる。医療機関で母体検査を踏まえるため、道が補助しないものに対して町が上乗せ補助するものである。

エ 平成25年度公立芽室病院の経営状況について

- ・菅原病院事務長補佐から説明後、質疑を行う。
- ・高橋（仁）委員：医業収益に占める職員給与割合が3.5%伸びたのはなぜか。
- ・菅原事務長補佐：収益全体が落ちたことと、職員給与が微増したことによる。
- ・高橋（仁）委員：これはよい傾向ではないと考えるが、理想とする割合はあるのか。
- ・菅原事務長補佐：55%程度で推移すると経営は安定すると見込んでいる。外来収入が伸びてくれば、この率は現行よりも下がってくる。
- ・高橋（仁）委員：赤字結果を踏まえて経営戦略はあるのか。
- ・菅原事務長補佐：病院で収益が上がるものを考えていく。小児科医2人となって期待するものである。
- ・吉田委員：高額な医療機器を購入すると、患者は増えると考えますが、そうした戦略はあるか。
- ・菅原事務長補佐：機器等購入は予算もかかる。機器購入選定委員会があるが、収入をどれだけ見込めるかを協議している。
- ・唯野委員：小児科と産婦人科の連携ができているとしているが、どういう見込みをしているのか。
- ・菅原事務長補佐：平成24年度を上回る収益になると考えている。
- ・高橋（仁）委員：看護師採用の際の就業資金の状況はどうなっているか。
- ・菅原事務長補佐：就業資金については、まだ実績はない。
- ・岡崎委員長：経営状況を見る中で、年度末繰越欠損金に対する抜本的な対策は。
- ・菅原事務長補佐：赤字をどのようになくするかについて、抜本的な解決策は現在のところはないが、在宅医療に取り組みなければ経営改善は見込めないのではないかと考えている。

オ 家電製品大量不法投棄の経過報告について

- ・弦巻課長から説明の後、質疑を行う。

- ・唯野委員：警察の動きはどうか。
- ・弦巻課長：警察は捜査しているが、コードを切られている共通点はある。
- ・唯野委員：重機使用の経費は。
- ・弦巻課長：リサイクル料含めて約40万円かかる。重機代は35万円。正確な経費は未確定である。

3 その他

(1) 次回委員会の日程について

平成26年7月1日（火曜）午前9時30分 第1委員会室

(2) その他

- ・事務局長：議会基本条例の委員会評価と、政策形成サイクルの事業選定を進めていただきたい。

以上をもって委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	2名	報道関係者	1名	合計	3名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

平成26年6月25日

厚生常任委員会委員長 岡崎 榮太郎